生協労連
いの健ネット@vol.34

発行２０１０年７月
生協労連いのちと健康を守る対策委員会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-1-9　南部ビル 3F
TEL.03-3408-0067　FAX.03-3408-8955
QYG03057@nifty.com

☆中央労働安全衛生委員会のみなさんにもお渡しください。
☆メールや FAX での送付を希望の場合は、生協労連までご連絡ください。
☆生協労連 HP（http://cwu.jp/）にも掲載しています。

生協労連いのちと健康を守る交流会
職場に労働安全衛生活動の風を吹かせよう

６月 26～27 日、「生協労連第 11 回いのちと健康を守る交流会（いの健交流会）」が、13 単組 42 人の参加で開催されました。

IL0187 号条約を職場に生かそう

記念講演では、東京社会医学研究センターの村上剛志さんを招き、日本が世界で初めて批准した ILO187 号条約について学びました。ILO187 号条約の第４条では、国のシステムで「加盟国は労使と協議して、安全衛生のための国のシステムを確立すること」とし、第５条では国のプログラムで、「労使と協議して、安全衛生に関する国のプログラムを作成すること」となっています。この条約の批准で、各県教育委員会が過重労働防止対策要綱の作成し始め、教育庁が「労働安全衛生の手引き」を作成した他、労働時間短縮のための調査部会が設置、メンタルヘルス休職者の職場復帰の進め方が合意されるなど、特に学校現場で安全衛生活動が進んできたことが話されました。

３つの分科会で学習

①労働安全衛生活動基礎講座
講師：佐々木昭三さん（東京社会医学研究センター理事）・村上剛志さん
労働安全衛生ハンドブックをもとに、特に「労働安全衛生活動の基礎知識」について深めました。また、職種ごとのとりくみも交流し、労安活動のイメージを具体的につかみました。

②メンタルヘルス分科会
◆助言者：松浦健伸さん（城北病院精神科医）大槻久美子さん（産業カウンセラー）

松浦さんからは、脳のメカニズムも解説していただきながら、うつ病と脳の関係について、講演いただきました。講演では、症状から「回復」と判断される状況でも、脳レベルでは「回復」していないことが最近明らかになってきたこと、健康・満足度を上げると生産性も向上すること、メンタル不全の予防には、ハイリスクの人への対策よりも職場全体に働きかける方が高い効果を得られること、雇用の安定度とメンタル不全も、密接に関連している調査結果も出ていることなどが話されました。

大槻さんからは、メンタルヘルスの２つの視点として、「疾病対応」と「組織づくり」があること、職場復帰では「５つのステップ」が重要であること、メンタルヘルスケアが安全衛生委員会の付議事項となり、労使で取り組むべき事項として位置づけられ、労働組合の役割発揮が期待されることなどが話されました。

第１分科会：労働安全衛生活動基礎講座

③パワー･ハラスメント分科会

◆助言者：山下敏雅さん（弁護士法人東京パブリック法律事務所）

山下さんからは、実際に起きたパワー・ハラスメントの事例を交えながら、パワハラは「人格権」の侵害だけではなく、「いのちと健康」も破壊することが強調されました。労働組合の役割として、まずは、被害者の被害を受け止めるところから、そして、対応するための体制づくり、個別事案・状況の把握、予防啓発、個人の問題ではなく、職場、社会の問題として捉え、考え、なくしていくとりくみが大切であることが話されました。

目で見る職場巡視具体例

生協労連いの健交流会・労働安全衛生基礎講座より

①パートによるトラックへの積み込みは二人一組の作業です。こうした積み込みは、一人が「ひっかけ棒」でひっぱり、一人が後ろから支えながら押しますが、倒れたりしないか心配です。

②配送センター・プラットホームへの上がり口には、ブロックやはしごなどの踏み台を置きましょう。へこんだり、壊れたりでケガのもとですから、コンテナでは代用しないように。

③普通のスチールデスクの間に、長机を置き、そこにパソコン関連を配置しました。手元の作業スペースが確保されるとともに、肩腕への負担軽減と、ＶＤＴ対策にも役立ちます。

生協労連いのちと健康を守る対策委員会
各生協の労安委員会より最近の話題

☆労災事故では転倒、つまずき、切創が多い

☆リスクアセスメントの教育を実施

☆脳ドックを受けた場合、２万円の補助を出すことを検討

☆体力測定を新たに導入

☆熱中症防止で、スポーツドリンクを１人２日で２Ｌ配布

☆テキレーヌの不使用による切創事故が増加

☆配送で犬かまれ事故増加

☆夏になると冷凍庫で転ぶ事故が多いので、安全衛生委員会で事故防止を広める

労働安全衛生ハンドブック好評発売中

「執行委員の学習用にした」「全事業所の店長、支所長へ配布した」「労働安全衛生委員会で活用を検討中」など、各単組、生協で活用され、購入も検討されています。今後も随時、申込みを受け付けますので、ぜひ、ご活用ください。